



名鍍会報告

2026. 4

2026年2月20日(金)～22日(日)、名鍍会幹事会は広島・岡山にて幹事会旅行を実施いたしました。今回は幹事会メンバーを中心とした参加となり、総勢16名が各自の予定に合わせて合流・帰名しながらの行程となりました。本旅行の大きな目的は、幹事会としての結束強化と、他地区青年部との交流を通じた視野の拡大です。

初日は、中国表面処理工業組合青年部「中青会」の新谷様(新和金属株)との会食から始まりました。中青会様は広島・岡山を中心とした十数社で構成されており、同じく業界を担う若手経営者が集う組織です。今回我々の人数の多さに大変驚かれておりました。



三代目後継者という立場での悩み、事業承継や人材確保、設備投資への考え方など、率直で踏み込んだ意見交換が交わされました。地域は違えど、課題も思いも共通していることを改めて実感し、大きな刺激を受ける時間となりました。今後もこうした横のつながりを大切に、互いに切磋琢磨できる関係を築いていきたいと考えております。

二日目は広島市内と宮島方面へ分かれて散策しました。平和記念施設や大和ミュージアムは改装中により入館できませんでしたが、歴史ある土地を歩くことで、平和の尊さやものづくり日本の歩みを改めて考える機会となりました。青年部として事業を営める日常が決して当たり前ではないことを胸に刻む時間でもありました。





夕方から岡山へ移動し、岡山駅近くで食事・宿泊しました。三連休の影響か分かりませんが、岡山市周辺の幹線道路は渋滞が多い印象でした。



最終日の 22 日(日)は倉敷・美観地区を散策しました。阿智神社やお寺が高台にあり、周辺に昔ながらの建物が残っているので、城下町ならぬ寺社町として栄えていたのでしょうか。ちなみに大原美術館と児島虎次郎記念館も改装閉館中で、ある意味で大当たりの旅行でした。



夕方には岡山駅から名古屋駅に帰り、無事解散となりました。

今回の幹事会旅行を通じ、名鑑会の結束の強さと行動力を改めて実感いたしました。2年後に迎える 70 周年という大きな節目に向け、幹事一同さらに力を合わせ、会全体を盛り上げてまいります。

今後の例会・事業への積極的なご参加を、心よりお願い申し上げます。

Y. M